

### 卓球部 田添 健汰



入部動機は「自分自身を伸ばすことのできる環境が充実しているから」。パワーやスタミナをつけることを課題に、専大の充実した施設で日々トレーニングに取り組んでいる。部員や練習試合の相手も強く、「切磋琢磨できている」という。勉強の努力も怠らない。授業に出る、課題をこなすというのは当然で、分からない問題は自分が納得するまでやる。その姿勢は競技でも同じで、練習後の自主練習を欠かさず、自己の課題解決に努めている。

優秀選手賞と最優秀新人賞の個人賞2冠に輝いた春季関東学生リーグ戦について「自分の勝利でチームに勢いを与えることができ、最初にしては上出来だった」と手応えを口にしている。今後に向けて「一戦一戦挑戦者の気持ちで臨みたい。そうすれば自然と結果はついてくる。また、ナショナルチームに入り、世界で戦いたい。将来は東京オリンピックに出場したい」と熱い気持ちを語った。

(千葉ますみ・商1 撮影) 木村健人・商1

## 東京五輪へたぎる情熱

前期の大会で結果を残し、各部ですでに欠かせぬ存在となっている1年次生たちのうち、専大スポーツ編集部イチオシの4人に話を聞いた。

# 期待膨らむ1年次生4選手

## 目指す個人、団体のV

### 馬術部 山本 開智



1年次生ながら、すでに多くの大会に出場している馬術部の山本開智(経営1・つばは開成高)。早朝の練習に加え、毎日馬の手入れを行うなど、ハードなスケジュールをこなしている。

山本が入部を決めた理由は、馬術部の組織体制にある。一言で表すならば「少数精鋭」。少ない部員数でも、高い技術力で他大学を圧倒し、多くの大会で優秀な成績を残してきたところに魅力を感じたという。

入部してからは、先輩に追い付こうとがむしやらに練習した結果、5月に行われた全日本ヤング・ジュニア総合馬術大会では、出場者の年齢制限がないノービスクラスで見事優勝。相棒のフェアリー・カレ号との努力が報われた瞬間だった。

一方で、「学生生活あつての部活動なので、勉強をおろそかにできない。常に精進するという意識を持って過ごしている」と、学業にも手を抜かず取り組んでいる。

11月には静岡県で全日本馬場馬術大会が開催される。「個人優勝を狙いたい。もちろん、少数精鋭のパワーを発揮し、団体優勝も目指します」と笑顔で語った。

(高田沙季・文1 写真)

### 水泳部 服部 友香



6月に行われたジャパンオープン2014(50歳)で堂々たる泳ぎを見せた服部友香(商1・八王子学園八王子高)。女子200m平泳ぎで予選を通過、B決勝(9~16位決定戦)へ進出した。なぜ入部したのかの問いに、「高校最後のインターハイで結果が出て、その時に声を掛けていただいた」と話す。また、専大は所属しているクラブでも練習ができ、選手に合った環境で練習に臨めるので入部を決意した。

毎日の練習ではタイムを気にしながら、次の大会で自己ベストが出せるように厳しく取り組んでいる。早朝の練習も同様だ。

競泳の魅力は「自分より上の選手を追いかけ、自分もそんな選手になりたいと思えるところ」。

そう話す服部の今後の目標は、初めてのインター(日本学生選手権水泳競技大会)9月5~7日、横浜国際プール)に出場し、A決勝に残れるようベストを尽くすこと。

そんな努力を惜しまない服部のこれからの活躍に期待が集まる。

(安藤貴大・商1 撮影) 石田美華・経済2

## 目標はインターA決勝

### サッカー部 廣瀬 慧



大学サッカーファンや関係者から注目を浴びつつあるのが、廣瀬慧(法1・前橋育英高)だ。廣瀬は「プロになる」という明確な目標を持つ。

て専大サッカー部に入部した。ここ数年、圧倒的な成績を残し続けている専大は、廣瀬が求めている条件にかなっていた。

入部早々、廣瀬は開幕スタメン出場を果たす。上級生が大半を占めるスタメンに1年次生が入ることは珍しく、それだけ期待されている選手だということも分かる。試合ではゴール、アシストでチームの勝利に貢献した。もちろん、監督やコーチに指導を受ける場面も多く見られるが、これまで得た経験は、着実に次のステップへ進む原動力となっている。

また、全日本大学選抜チームにも選出された。「(プロで試合に出場する機会を増やすため)複数のポジションをこなせるような選手になりたい」と将来への意気込みを語る廣瀬。

プロへの道を真っすぐ思い描きながらプレーする姿を見に、今夏はサッカーグラウンドへ足を運んでみよう。

(古谷皓平・文1 撮影) 村橋志修・経営2

## 描くのはプロのピッチ

## 優勝祝賀会



の栗本キミ代会長(昭36商経)らが、部員たちの健闘をたたえた。

アーチエリー部

7月5日、アーチエリー部の創部50周年を祝す記念式並びに優勝祝賀会が同会場で大いに催された。

約90人のOB・OGが出席。1964年に洋弓同好会としてスタートし、数々の栄光を勝ち取ってきた同部は、節目の年に関東学生男子リーグ戦ブロック優勝(2年ぶり7度目)という花を添え、式は晴れやかに執り行われた。

(鷹野未佳・経営2)

### バレーボール部

7月12日、バレーボール部の東日本大学選手権優勝祝賀会が神田キャンパスの報恩の間で行われた。

日高義博理事長や矢野建一学長をはじめとする本学関係者や、バレーボール部OBらが出席し、創部以来初となる優勝を成し遂げた部員や吉岡達仁監督を祝福した。吉岡

監督は「祝賀会でいただいたみなさんの応援を糧に、秋季リーグ戦でも選手たちとともに優勝を目指す」と話した。写真(阿部理志・文2) 写真

### 卓球部

8月2日には、卓球部の春季関東学生リーグ戦女子優勝祝賀会が同会場で開催され、5シーズンぶりに、通算40回目の優勝を祝った。写真(来賓、OB・OGら合わせて50人が出席。同部のOB・OG会である緑生会



テニス部

全日本女子学生選手権

8月19~25日(岐阜メモリアルセンター)

バスケットボール部

関東大学女子リーグ戦

8月30日~10月12日(各大学体育館)

関東大学リーグ戦

9月6日~11月2日(代々木第二体育館ほか)

バドミントン部

東日本学生選手権

8月30日~9月5日(札幌市北海きたえーる)

レスリング部

全日本学生選手権

8月26~29日(岐阜メモリアルセンター)

### 東都大学野球秋季リーグ戦(2部)日程

9月6日(土)	立正大一専大	(立正大)
7日(日)	専大一立正大	(専大)
13日(土)	東洋大一専大	(東洋大)
14日(日)	専大一東洋大	(専大)
27日(土)	国士大一専大	(国士大)
28日(日)	専大一国士大	(専大)
10月4日(土)	日大一専大	(日大)
5日(日)	専大一日大	(専大)
18日(土)	専大一東農大	(専大)
19日(日)	東農大一専大	(東農大)

◇開始時間は13時。雨天、その他は順延。  
◇試合会場はカッコ内の大学の野球場。  
※東都大学野球連盟ホームページ  
<http://www.tohto-bbl.com>

### 合宿情報

大学ホームページ  
↓専大スポーツ↓部・同好会一覧に掲載しています。